ニューヨーク補習授業校だより

架け橋

令和７年（2025年）２月21日　第38号　校長 小島　昇

学習支援システム「ｅライブラリ」を導入します



ニューヨーク補習授業校では、新年度より学習支援システム「ラインズｅライブラリアドバンス」（「ｅライブラリ」と呼びます）を導入することとしました。「ｅライブラリ」は、AI 型デジタルドリル問題（小学校：国算理社英、中学校：国数理社英保体技家音美）を中心とした様々な教育用コンテンツをオンラインで利用できるサービスです。児童生徒に一人１台の教育用情報端末の整備が進められた日本でも、多くの学校で活用されています。補習校では端末や通信環境が整備されていませんので、当面は各ご家庭での活用を想定していますが、利用価値は大きいと考えています。

２月 22 日の授業日に、接続先や児童生徒用 ID・パスワードを記載したお知らせを配付します。試用期間として年度内もすぐにご利用いただけますので、これまでに学習したことの復習等に自由にご活用ください。なお、各家庭の PC やタブレット端末をご利用いただくとともに、通信にかかる費用は各ご家庭での負担となりますので、ご協力をお願いいたします。

また、本サービスはラインズ株式会社が提供するものであり、小中学生を対象としているため、初等部児童及び中等部生徒が利用対象者となります。

ぜひ 家庭学習で活用してみてください

まず保護者の皆様には「ラインズｅライブラリアドバンス」ウェブサイトで、「ｅライブラリ」の特長や機能、使い方等をご確認いただくのが良いと思います。

https://www.education.jp/ela_katei

子どもたちは直感的に利用することができるのではないかと想像しますが、慣れるまでは保護者の皆様からのアドバイスも効果的な活用のためには必要かもしれません。

「e ライブラリ」利用方法

① ログインページに接続する

https://ela.education.ne.jp/students

② ログインする

学校から通知された「学校コード」「児童生徒用 ID」「パスワード」を入力してログイン

（アカウント情報の取扱いにご注意ください）



③　「ホーム」画面から学習を始める



学年や教科を選ぶことができます



［先生からの指示］
先生から課題の指示が出されると、ここに表示されます。学校では、宿題として「e ライブラリ」を活用することを検討しています。

［自由学習］
自分で学習内容を決めて、自分のペースで学習を進めることができます。まずは、ここから始めてみてください。現在の学年の学習内容だけでなく、「学年」を変更すれば学年を遡って学習することもできます。また、「教科」を変更すれば補習校の授業では扱っていない教科の学習をすることもできます。補習校で配られた教科書が既に設定されていますので、お手持ちの教科書を使いながら学習を進められます。

［ふりかえり］
「e ライブラリ」を使用した学習の状況を確認することができます。学校・教師としての活用方法を検討中ですので、現在は（先生との連絡）を使用できません。

［ライブラリ］
AI 型ドリル問題のほかにも、様々な教材が用意されています。「e ライブラリ手書き ex」では、手書きで漢字の学習ができます。「いろいろカード帳」は、かけ算九九や都道府県、英単語などを学べるカード型教材です。



各家庭の機器をご利用いただくことになるため、子どもが自由に使用できる端末が無かったり、兄弟姉妹がいて使用できる時間の調整が必要だったり、ご不便をおかけすることもあるかもしれません。年度内に試用していただいて、学習効果を期待できるようでしたら、必要に応じて各ご家庭のご判断で端末の購入を検討していただけたらと思います。（手書き入力ができるものが良いと思います）



ＬＩ校中高等部バザー売上金等の寄付について

１月４日に行われたＬＩ校中高等部バザーの売り上げは$1202 でした。募金や保護者会からのマッチング等を合わせた寄付金額は合計$2074.20 となりました。ＬＩ校では、これを能登半島地震及び豪雨の被災地である石川県珠洲市と輪島市に半額ずつ寄付することになりました。